

令和7年度大学入学者選抜実態調査について

調査の目的・内容

- 近年、大学入学者選抜方法の多様化・複雑化が進む中で、国としての確な現状分析に基づいて検討を進めるためにも、国内の全大学・短期大学が現在実施している入学者選抜の状況について、最新の動向を網羅的に把握する必要がある。
- 各大学が実施する大学入学者選抜について、選抜区分ごとに詳細を把握し、設置主体別等の分析を行う。
- 既に実施した大学入学者選抜の選抜区分基本情報、大学入学共通テストの利用状況、個別学力検査の実施状況、英語資格・検定試験の活用状況、記述式問題等の出題状況等を調査。

調査の実施時期・方法

- 令和7年7月16日～令和7年8月29日の期間に各大学に回答を依頼・回収。
- eメールによる調査票の発送及び民間委託業者による回答票の回収・集計により実施。
(遅れて回答のあった大学等も含め、令和7年10月1日までの回収分を集計)

調査の対象

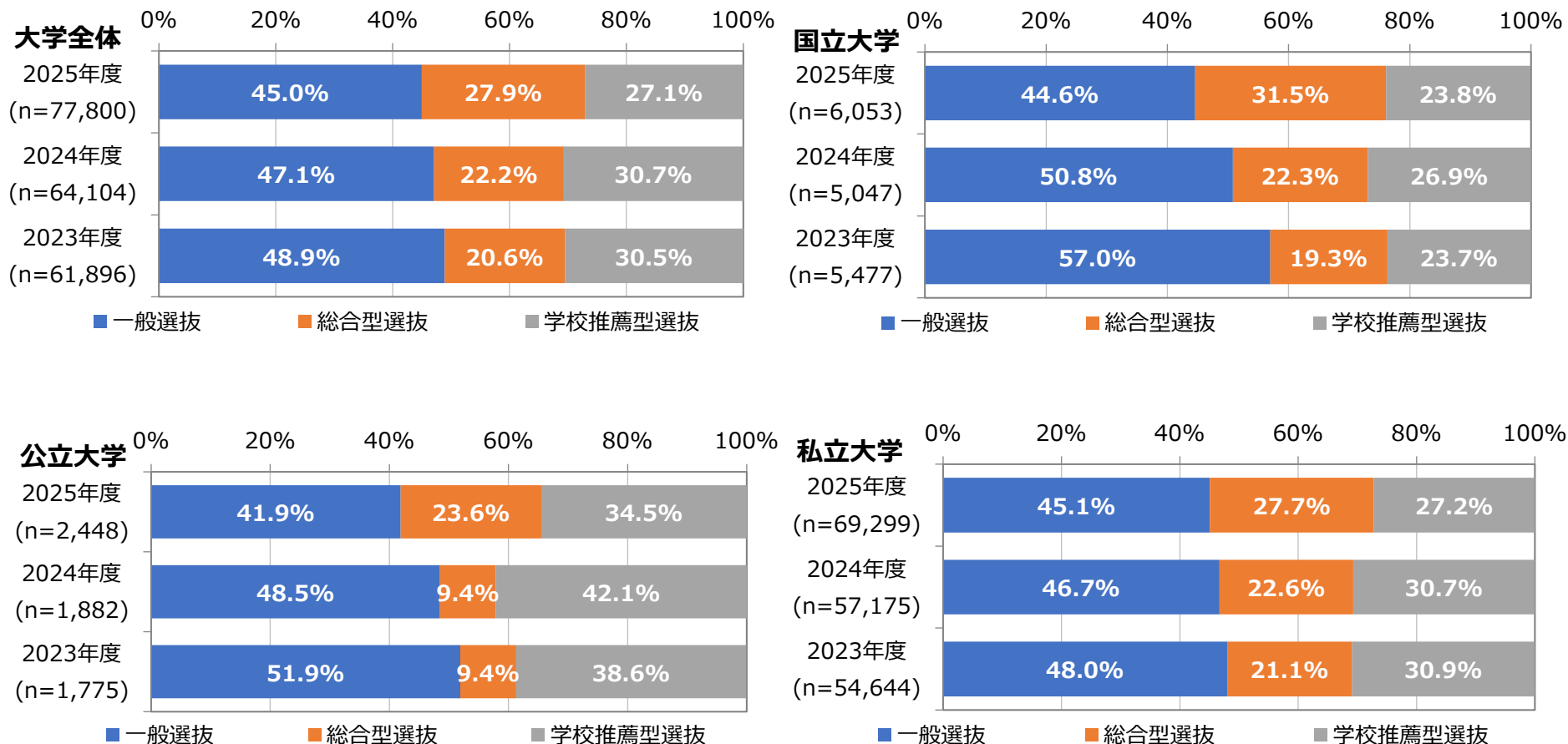
- 国内の全大学及び短期大学（大学院大学と学生募集停止の大学・短期大学を除いた、国立大学・公立大学・私立大学・公立短期大学・私立短期大学の1,041校）
- 回収数：1,041校（84,769選抜区分）、回収率：100%

令和7年度大学入学者選抜実態調査の主な調査結果について

令和7年度大学入学者選抜実態調査の主な調査結果については、以下のとおり。

● 選抜方法

○ 一般選抜、総合型選抜及び学校推薦型選抜の3つにおいて、総合型選抜の割合が増加傾向にある。



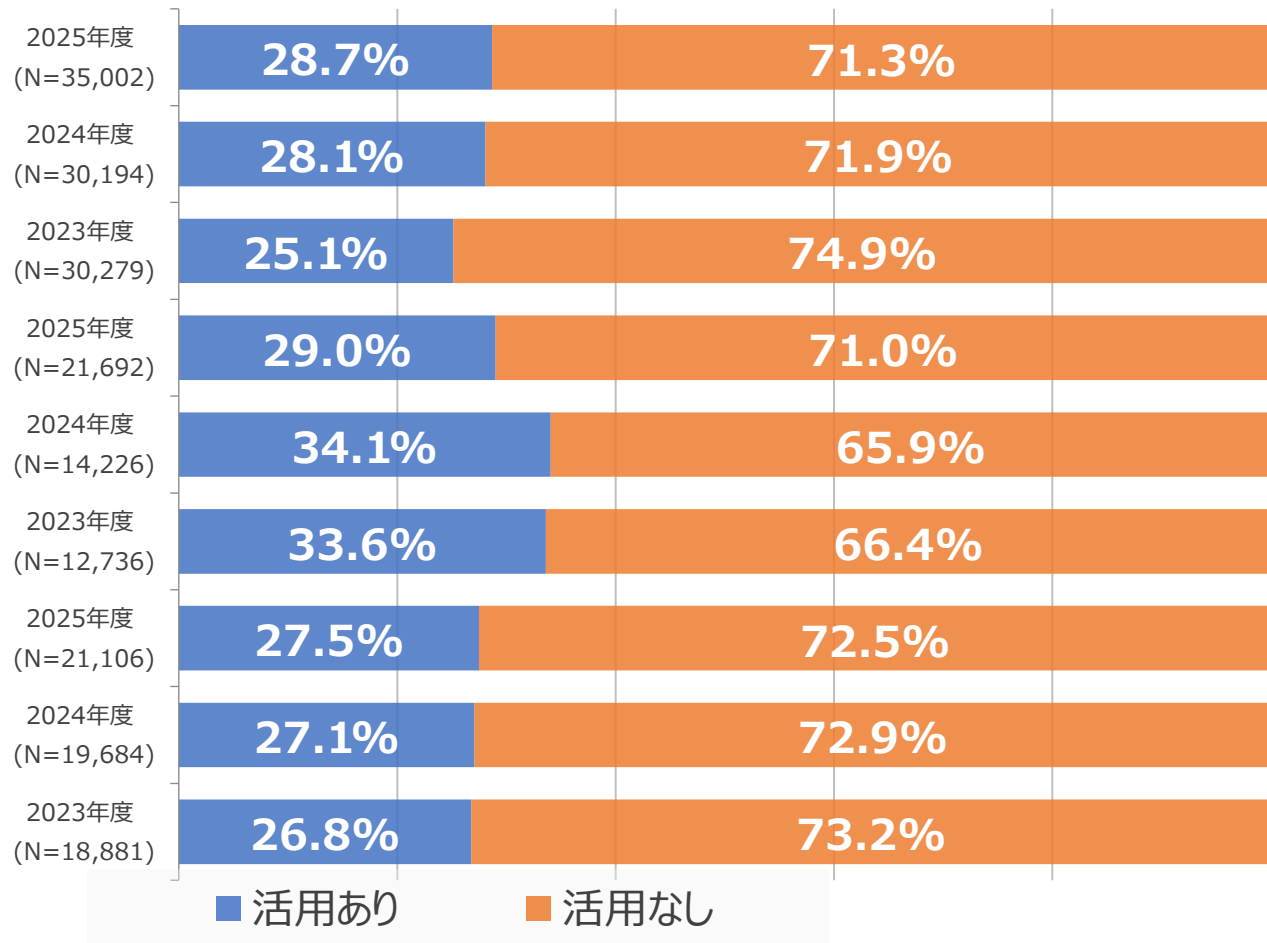
※令和7年度大学入学者選抜実施要項（令和6年6月5日付け文部科学省高等教育局長通知）より、各選抜区分の特性と選抜の実態との整合性を図る観点から、一般選抜とそれ以外という整理を改め、入試方法を「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」に再整理された。
 これにより、「大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究」の各数値について、2025年度と2024年度以前との単純比較はできない。

● 英語資格・検定試験の活用

- 英語の資格・検定試験の活用がある選抜区分の割合は、一般選抜ならびに学校推薦型選抜において上昇傾向にある。

大学全体

一般選抜



※nは、国立大学・公立大学・私立大学において一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜を実施する選抜区分数

※令和7年度大学入学者選抜実施要項（令和6年6月5日付け文部科学省高等教育局長通知）より、各選抜区分の特性と選抜の実態との整合性を図る観点から、一般選抜とそれ以外という整理を改め、入試方法を「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」に再整理された。

これにより、「大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究」の各数値について、2025年度と2024年度以前との単純比較はできない。

● 個別学力検査における記述式問題の出題状況

- 一般選抜における個別学力検査において、記述式問題（短答式・穴埋め式を除く）が出題された選抜区分に係る2025年度の入学者数は、国立大学で68,123人(98.7%)、公立大学15,848人(97.9%)、私立大学86,285人(56.9%)。

	2022年度	2025年度
国立大学 (一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合)	67,779 (98.0%)	68,123 (98.7%)
公立大学 (一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合)	15,659 (93.9%)	15,848 (97.9%)
私立大学 (一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合)	91,299 (55.6%)	86,285 (56.9%)
大学全体 (一般選抜で個別学力検査を実施する選抜区分の入学者数に占める割合)	174,737 (69.9%)	170,256 (71.9%)

その他の（「大学」における）主な調査結果については、以下のとおり。
（＜＞内は調査報告書の頁番号）

【試験問題の公表】

- 個別学力検査における試験問題の公表状況について、約 9 割（国立大学（96.3%）、公立大学（85.7%）、私立大学（92.8%））が全て又は一部を公表。＜P6＞

【大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」）の利用の実態】

- 一般選抜において共通テストを利用して合否判定する選抜区分（※1）は、国立大学92.0%、公立大学88.9%、私立大学42.7%。＜P44＞
- 共通テストを利用して合否判定する場合、一般選抜においては、国立大学は 8 科目の利用、公立大学は 3・5・8 科目の利用、私立大学は 3・2 科目の利用が多い。＜P47＞

【個別選抜の実態】

- 共通テストを利用していると回答した選抜区分のうち、更に個別学力検査（※1）を実施しているのは、一般選抜 69.8%、総合型選抜5.9%、学校推薦型選抜1.7%。＜P57＞
- 一般選抜で個別学力検査を課す選抜区分では、英語（必須＋選択 86.5%）、数学（同 76.2%）、国語（同 69.5%）を出題する選抜区分が多い。＜P62＞

【学校推薦型選抜の実態】

- 学校推薦型選抜の種類を入学者数別でみると、公募型が国立大学98.4%、公立大学90.3%、私立大学23.1%。＜P31＞

【記述式問題等の出題の実態】

- 一般選抜における個別学力検査において、記述式問題を出題している選抜区分の割合は、国立大学は全体の 99.9%、公立大学は 98.1%、私立大学は 35.0%である。＜P140＞

※1 本調査における「個別学力検査」は、学習指導要領に定められている教科・科目の学力検査、「総合問題」としている。「小論文」、「面接」、「討論」及び「実技検査」等は含まない。